

レジメン名

Avelumab(維持療法)

出典 バベンチオ適正使用ガイド 2021年2月作成

実施部署区分

■入院 ■外来 □処置

対象疾患

尿路上皮癌(根治切除不能な尿路上皮癌における化学療法後の維持療法)

☐進行・再発
☐補助療法(術前・術後)
☐初発
☒維持療法

投与減速の基準

その他	Grade1のInfusion reaction: 投与速度を50%に減速して投与。 Grade2のInfusion reaction: 投与を中断し、Grade1に回復後、 投与速度を50%に減速し再開。次回、前投薬にH ₂ 受容体拮抗薬を追加。 ※投与を50%に減速した場合、次の投与でinfusion reactionが認められなければ元の速度に戻すことが可能。
-----	--

投与中止の基準

AST	120IU/L以上	ALT	120IU/L以上
T-Bil	1.8mg/dL以上	Cr	1.6mg/dL以上
その他	Grade2以上の間質性肺疾患、大腸炎・下痢 Grade3以上のInfusion reaction、甲状腺機能低下症・甲状腺機能亢進症・副腎機能不全・高血糖 新たに発現した心臓病、臨床検査値又は心電図による心筋炎の疑い 上記以外の副作用発生時、以下に従う ・Grade2又は3の副作用: Grade1に回復するまで休薬 ・Grade4又は再発性のGrade3の場合: 副作用の処置としての副腎皮質ホルモン剤をPSL換算で10mg/日相当量以下まで12週間以内に減量できない場合 ・12週間を超える休薬後もGrade1まで回復しない場合		

1クール期間 14日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
アベルマブ(バベンチオ)	10mg/kg	NS 250mL	60min	day1

1日投与順 (経時的にプレデイクション・ポストデイクション、 溶解液まで含む)
day1 ①アセリオ(1000)500mg+ポララミン(5)1A(30分) ②バベンチオ 10mg/kg+生食250mL(60分) ※0.2μmのインラインフィルターを使用して投与 ③生食50mL(フラッシュ用)